



江戸時代には、全国各地で虫送りが行われていました。

## 夏の風物詩

### 富奥地区虫送り大会

「虫送り」は、稲の害虫駆除と豊作を願って行われる地域の伝統行事です。時代の変化とともに実施する地域は減少しているようですが、富奥、御経塚、押野の各地区では、今でも季節の行事として地域の人々に受け継がれています。7月23日(土)には、スポーツランド横のふれあい広場にて、「富奥地区虫送り大会」が行われました。感染症対策のため規模を縮小しての開催となりましたが、高く燃え上がる大たいまつと勇ましく鳴り響く太鼓の競演は、迫力満点でした。

## 「農」と「食」の大切さを学ぶ

### 親子で楽しくお米づくり体験 夏野菜収穫編

カメラ・パルの会では、親子で田植えから草取り・稲刈りまでの農作業を体験する「親子で楽しくお米づくり体験！」を実施しています。その特別編として、7月24日(日)に夏野菜収穫編が行われました。中林で有機野菜を作っている「福来園」へ朝6時に集合して体験開始。田んぼの雑草踏みを行った後、ナス・トウガラシ・オクラ・エダマメの収穫体験を行いました。子どもたちは「これが良いかな?」「あっちの方が大きい!」と、目を輝かせながら取り組んでいました。



畑で大きさをじっくり吟味し、立派な白ナスをゲット!



多くの人が浴衣や甚平姿で来場。縁日気分も高まります。

## カミーノで過ごす夏のひととき

### こども縁日&夕涼みマルシェ

7月30日(土)、にぎわいの里ののいち カミーノで「こども縁日&夕涼みマルシェ」が開催されました。会場にはスーパーボールすくいや金魚すくい、輪投げ、的あてなどの縁日遊びや体験コーナーがさまざまに用意され、子どもたちは嬉しそうに各コーナーを巡っていました。また、「はぐネット」による子ども服の無料提供や、日本酒 猩々を使用した「ふがく堂」の新品『猩々最中』の先行販売、キッチンカーの出店なども実施。子どもも大人も夏のひとときを満喫していました。

## 縄文時代に思いをはせながら

### 夏休み古代体験 2022

7月23日(土)～8月7日(日)の期間、ふるさと歴史館で小学生対象の「夏休み古代体験 2022」が開催されました。7月29日(金)は、縄文時代の土鈴づくり体験ができる日でした。実際に遺跡から出土した土器や装飾品などについて学んだ後、いよいよ製作開始です。粘土を伸ばしたり、穴を開けたりして形を整えていき、そこに思い思いの模様を入れて、この日の作業は終了。後日、行われた野焼きで完成しました。縄文時代を身近に感じることのできる充実した体験になりました。



制作している様子は、まるで職人のよう。

# まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。  
市民協働課 ☎ 227-6056

## 地域の先生と夏休みにチャレンジ

### 学びのサポーターとつくる夏休み体験

小学生がさまざまな活動にチャレンジする催し「学びのサポーターとつくる夏休み体験」が、市内4公民館で開催されました。いろいろな知識や技能を持つ地域の人が「学びのサポーター」として教室の先生に。子どもたちは学びのサポーターの指導のもと、小物の製作や戦争体験を聞く教室など、学校の授業とは違う体験をしました。7月30日(土)に、富奥公民館で行われた紙すき&ミニうちわづくりでは、自分で紙をすいて作る場所からスタート。参加した菅原小学校5年生の対馬理仁さんは、「紙すきをしたのは初めてだったので、まんべんなく液を行き渡らせるのが難しかったです。気に入ったものができたので、大事に使います。」と話し、世界一つのオリジナルうちわに大満足な様子でした。



①富奥公民館「紙すき&ミニうちわづくり」参加者の皆さん②野々市公民館「クラフトバンドでリボンのかごを作ろう!」の様子③郷公民館「油絵教室」の様子④押野公民館「ボーセラーツでオリジナルカップを作ろう」の様子

## 迫力あるプロスポーツを観戦!

### ツエーゲン金沢ホームタウンサクスデー

7月16日(土)、西部緑地公園陸上競技場(金沢市)でサッカーJ2リーグ・ツエーゲン金沢によるホームタウンサクスデーが実施されました。会場には市のPRブースを設置し、招待事業として400人以上の市民が観戦に招待されたこの試合。ツエーゲン金沢には市出身のゴールキーパー・三浦基城選手が今シーズンから加入するなど県出身の選手も増えており、ホームサポーターの応援を受けて首位のアルビレックス新潟を相手に粘り強く戦いましたが、試合は0-3で敗れました。



写真提供: ツエーゲン金沢  
試合に訪れた5,574人に向けてあいさつする栗市長とのっティ。

## オリジナル作品を初披露!

### 大型紙芝居『のっティのおおきなヤーコン』

7月20日(木)、中央児童館母親クラブのオリジナル大型紙芝居『のっティのおおきなヤーコン』が初披露されました。これは、母親クラブの皆さんが「コロナ禍でも出来ること」を話し合い制作を決めたもの。令和2年6月に制作を開始し、約2年をかけて完成させました。ストーリーは『おおきなかぶ』をベースにし、のっティたちが協力して市の特産品“ヤーコン”を収穫するというものです。8月25日(木)には、小学生を対象に中央児童館「さよなら夏休み」でも披露されました。



紙芝居から飛び出す大きなヤーコン! 子どもたちも夢中でした。